

令和5年度 沖縄県県民の森指定管理者制度運用委員会における  
モニタリングの検証結果について（令和4年度実績分）

1. 施設名：沖縄県県民の森
2. 開催日時：14時00分～15時15分
3. 開催場所：沖縄県庁9階第4会議室
4. 出席者：委員4人中 3人出席  
（委員長） 神谷 繁  
（委員） 篠原 礼乃  
（委員） 港川 実美  
（事務局） 沖縄県森林管理課 宇地原課長、資源活用普及班 今田班長、  
資源活用普及班 岸本  
（指定管理者） 沖縄北部森林組合
5. 検証事項：沖縄県県民の森（令和4年度実績）に係るモニタリングの実施結果
6. 検証内容
  - (1) モニタリングは適正に行われているか。
  - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
  - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。
7. 検証方法
  - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
  - (2) 委員からの質疑・意見
8. 検証結果  
施設の管理運営は概ね適切になされている。
9. 主な質疑・意見  
○財務では収支がマイナスになるのは近年、光熱水費の高騰により、指定管理者の負担が大きくなる一方である。今後も更なる光熱水費の高騰が続き、指定管理者の負担が更に大きくなる場合、指定管理者の負担を軽くするために、指定管理料増を行うといった予算計上を諮る必要があるのではないか。

→情勢により指定管理者が施設運営する上で負担になっており、令和3年度に電気高踏分の予算化検討したが、出来なかった。また、他の施設も同様に予算化できていない。今後、指定管理者の負担になっている場合は、予算要求を行っていきたいと考える。

○新施設の PR について HP で早めに確認できるように整えた方が良くはないか。また、学校や団体に PR することで施設の利用促進に繋がるのではないか。

→指定管理者と調整したうえで、HP での新施設（特に研修室、木工室）の PR を行っていく。学校や団体にも県民の森を周知し利用促進に努める。

○遊具撤去により、利用者数が減少傾向ではあるが、遊具の新設の取組だけでなく既存施設の魅力発信や PR する等を行い、利用者を確保するべきではないか。

→既存施設の有効活用がまだまだできていないので、PR 出来ていないのが課題である。施設、広場の周知するよう努める。

○中央広場は他広場と比べて利用が少ない理由は、利用料金がかかるからではないか。それが理由で無料の他広場に集中するのは仕方ないのではないか。

→中央広場は全面貸出の場合のみ利用料金を徴収している。また、団体で子ども達を利用する場合は減免申請により無料で使用することが可能である。有料広場の無料で利用する方法について周知していく。

○焚き火については利用者からの要望が多数であることから今後行う予定なのか。

→焚き火については現在禁止している。焚き火を使用許可する場合は恩納村との調整を行ったうえで協議書等を締結する。

10. 会議の公開状況：公開